

○平成 25 年度



5月。1年生から6年生まで、71人全員でサツマイモ、ジャガイモ、サトイモの植え付けをしました。特に1年生は、初めてサツマイモの苗植えに挑戦です。植え方を聞いてもちょっと不安です。何回も「これでいいですか。」と聞いて確かめていました。

植えた後にたっぷりと水やりをするためのペットボトルも一人一人準備しました。大きな、甘い、サツマイモができるのが楽しみです。



5・6年生は、毎年「米作り」を体験しています。5月に田植えをして、2週間たつと、もう草が生えてきます。雑草にもきちんと名前がついていることを教わった面々はさっそく質問です。「これ、タマガヤですか？」そして、感想。「コメとヒエの見分けがむずかしい」次に待っていたのは、田車（通称ころばし）を押す重さです。軽いと草が取れないし、重いと前になかなか進みません。でも、初めての5年生にとっては、新鮮な驚きです。



10月。5月に植えた、三つの「イモ」の収穫です。今年は、残念ながら「ジャガイモ」は収穫0（ゼロ）でした。去年より「水やり」も多くしたのに。自然を相手にするむずかしさを味わいました。

サツマイモの収穫では、まず、「つる」をよけるところから始まりました。その後は、子どもたちの頭の大きさもあるような、サツマイモを掘り出し、みんな大興奮です。掘り残しのないように、丹念にイモを探しました。



農業科の楽しみは、何といても「収穫祭」です。5・6年生は、「豚汁」を作って地区の人にも食べていただきました。もちろん、大好評です。あわせて、実習田でとれた米のご飯も一緒とあって、みんな満足。

子どもたち、保護者、地区の方々が一体となり、駒形小学校を中心として、楽しいひと時を過ごすことができました。